

科目	基礎看護技術Ⅲ	時期	1 年次後期	単位数	1 単位	実務経験
		担当教員	山田 雅子	時間数	30 時間	○（専任教員）
目的	根拠を踏まえ、日常生活を支える看護技術や診療に伴う援助技術ができる					
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人々の健康を促進するために必要な、日常生活行動の援助に関わる援助方法の基本について学ぶ。 2. 人間にとっての食事・栄養と排泄の意味を理解して、対象が健康生活を送るために必要な援助の方法を習得する。 3. 人間にとっての活動・休息、身体の清潔の意味を理解して、対象が健康生活を送るために必要な援助の方法を習得する 4. 診療の補助行為に関わる援助方法の基本について学ぶ。検査や薬物療法、創傷管理が必要な対象者が安全に、検査・治療を受け、療養生活を送ることができるための方法を学ぶ。 					
学習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 環境を整える技術 2. 排泄の援助技術 3. 活動・休息の援助技術 4. 清潔・衣生活の援助 5. 演習（手浴） 6. 食生活と栄養摂取の援助技術 7. 呼吸・循環を整える技術、口腔内吸引の実施基準 8. 創傷管理技術 9. 三角巾による包帯法、間接的圧迫止血法 10. 救命処置技術 11. 与薬・輸血の技術 12. 輸血療法、注射法 13. 与薬・輸血の技術 14. 検査に伴う看護技術 					
授業形態	講義、演習					
教材	新体系 看護学全書 基礎看護学 2 基礎看護技術 I メヂカルフレンド社 新体系 看護学全書 基礎看護学 3 基礎看護技術 II メヂカルフレンド社 系統看護学講座 専門分野 基礎看護学 [1] 看護学概論 医学書院 看護技術プラクティス 学研					
評価	終講試験 演習態度 レポート					